

言語・文化の差異を超えて
社会参加のあり方を問う

第6回

多文化社会実践研究・ 全国フォーラム

日時: 2012年12月1日(土) 10:00~17:30

懇親会 18:00~19:30

場所: 東京外国語大学 府中キャンパス (西武多摩川線 多磨駅徒歩5分)

要事前申込み (定員 300人) 入場無料 (懇親会のみ3,000円)

主催: 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL.042-330-5441

申込先: <http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

Google, YAHOO! 「多言語多文化教育」で検索

後援: 内閣府 総務省 法務省 外務省 文部科学省 府中市 調布市 財団法人自治体国際化協会
公益財団法人武蔵野市国際交流協会 東京学芸大学国際教育センター 社団法人日本語教育学会
異文化間教育学会 移民政策学会 日本社会教育学会 多文化間精神医学会 日本言語政策学会

日本の多文化化が進行する中、いわゆる「多文化共生社会」の仕組みづくりにおける社会参加の担い手に変容が見られ始めています。これまでは地方自治体・国際交流協会、NGO・NPOなどが主導する事業や活動に外国人が参加する形態が中心でしたが、先般の東日本大震災によりクローズアップされたように、最近では外国人が主体的に力を発揮し、よりよい社会の実現を目指そうとする動きが出てきています。

一方で、震災時のような「非日常」における活躍のみならず、「日常」の社会参加の場面において外国人が広く活躍するためには、さまざまな課題や障壁が山積しています。

本フォーラムでは、すでにホスト社会で立場を得て活躍する外国人、およびホスト社会側でそうした場づくりを行う多種多様な分野の識者を招き、外国人の社会参加のあり方を議論し、今後の多文化社会を築くうえでの布石としたいと思います。

参加者
募集!

12月2日(日)10:00~16:00

実践研究交流会

— 多言語・多文化の現場から —

「ラウンドテーブル」

☆詳細・申込みはホームページから

申込方法

本センターHPの
フォームからお申込みください。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

※インターネット環境のない場合は下記にご連絡ください。

問い合わせ

東京外国語大学
多言語・多文化教育研究センター

Tel.042-330-5441

Fax.042-330-5448

P R O G R A M

2012年12月1日(土)

- 10:00 ■挨拶 亀山 郁夫(東京外国語大学長)
青山 亨
(多言語・多文化教育研究センター長/本学大学院総合国際学研究院教授)
- 10:20 ■パネルディスカッションI
何が社会参加を可能にするのか?
- パネリスト
グエン・ファン・ティ・ホアンハー(多文化まちづくり工房ベトナム語通訳スタッフ)
チョウチョウソー(NHK国際放送アナウンサー)
宮澤 イザベル(医師・東北福祉大学内予防福祉クリニック多文化共生医療相談室)
- コメンテーター
渡戸 一郎(明星大学人文学部教授、移民政策学会会長)
- モデレーター
長谷部 美佳(本センター特任講師)
- 11:50
- 12:40 ■研究発表セッションI(12:40~14:10)
■研究発表セッションII(14:20~15:50)
- ◆個人/グループ発表
日本の多言語・多文化化の問題に取り組んでいる研究者および実践者
(自治体、国際交流協会、NPO等の職員等)による発表(発表者・発表内容は、10月以降センターHPにてご案内します)
- 15:50
- 16:00 ■パネルディスカッションII
多分野の実践から学ぶ —「場づくり」の観点から—
- パネリスト
可部 州彦(明治学院大学教養教育センター教員・研究員、
公益社団法人難民起業サポートファンド(ESPRE)経営支援部長)
高橋 政司(財団法人自治体国際化協会多文化共生部長)
早川 秀樹(多文化まちづくり工房代表)
- コメンテーター
小平 達也(グローバル人材戦略研究所所長、株式会社ジェイエーエス代表取締役社長)
- モデレーター
内藤 稔(本センター特任講師)
- 17:30
- 18:00 ■懇親会(アゴラ・グローバル1階)
参加者同士の交流を通してネットワークを広げてください。
- 19:30

※詳細はセンターHPをご覧ください(内容等若干変更する場合があります)。



当日参加された方には、ベトナム出身児童のための漢字教材
「1年生配当漢字」「2年生配当漢字」「3年生配当漢字」
印刷見本版を差し上げます。

(お一人様(1団体)各1冊とさせていただきます)